

# 水レター「びわ湖・よど川」

2011. 9 【vol.17】

独立行政法人 水資源機構 関西支社 発行

水レター「びわ湖・よど川」は、水資源機構全体の取り組みや関西支社管内における水資源機構に関する情報、琵琶湖・淀川水系の水源地域情報を関西管内の関係者（利水者、関係府県、関係市町村及びその他の関係機関）の皆様へ直接配信させていただきます。

今回の水レターでは、まず、“歴史は繰り返す”という言葉がありますが、明治29年の災害（大津波と大出水）を振り返って、大災害への備えについてを記載いたしました。また、関西管内で開催されたイベントについて報告をさせていただきます。どうかご一読ください。

## 目 次

1. 8月の気象状況	1 p
2. 台風12号に伴うダム防災操作について 比奈知ダム上流域での累計雨量が838mmを記録！ 布目ダム管理開始以降、最高の総雨量を記録！！	2 p
3. 明治29年(1886年)を振り返る(大津波と大出水)	6 p
4. ~ご疑問に答えるコーナー~ 水資源機構のダムにおける地震時の対応について	8 p
5. 木津川ダム群の水源地域ビジョン連絡会議の実施状況について	10 p
6. 【報告】関西管内の週間行事について ・「青蓮寺ダム管理所施設見学会」を開催しました(報告) ・夏でもひーんやり「一庫ダム内部見学&説明会」 ・市民夏のにぎわいフェスタ2011	11 p 12 p 13 p
7. マラソン大会に参加しよう	14 p
8. 編集後記	15 p

# 8月の気象状況



8月の近畿地方は、晴れの日が続き、例年に比べ、何れの施設においても降雨量が平年を下回りました。特に日吉ダムでは8月21日10時には貯水量が62.8%まで下がり、やや回復(9/1 9:00 貯水量 67.8%)したものの、これからも渇水が懸念されています。(台風12号にて貯水量回復)

一方では、8月27日に近畿地方を襲った激しい雨により、気象庁の大阪観測所では1時間の観測雨量が77.5mm(観測史上1位1979年9/30にも77.5mmを記録)を記録し、大阪市内では建物への床上・床下浸水や道路冠水が各地で相次ぐなど被害が生じました。

8月の主な雨量は、青蓮寺ダム58mm、一庫ダム71mm、布目ダム72mmなどとなり、7月雨量の平年値と比べ、青蓮寺ダム38%、一庫ダム61%、布目ダム55%と平年値を下回りました。

9月からの近畿地方向こう1ヶ月の予報では、例年に比べ、気温が高くなるとの予報です。引き続き、高水、低水とも万全な管理を行ってまいります。

(関西支社 施設管理課)



## 8月の各ダムの降雨量

	琵琶湖開発			高山ダム			青蓮寺ダム			室生ダム		
	平年値	H23年観測値	平年比	平年値	H23年観測値	平年比	平年値	H23年観測値	平年比	平年値	H23年観測値	平年比
8月の雨量	146.0	98	67%	137.0	83	61%	153.0	58	38%	145.0	99	68%
8月までの累計雨量	1164.9	1,280	110%	1009.0	1,125	111%	988.0	1,028	104%	1008.0	1,095	109%

	布目ダム			比奈知ダム			一庫ダム			日吉ダム		
	平年値	H23年観測値	平年比	平年値	H23年観測値	平年比	平年値	H23年観測値	平年比	平年値	H23年観測値	平年比
8月の雨量	132.0	72	55%	181.0	86	48%	117.0	71	61%	119.0	95	80%
8月までの累計雨量	994.0	1082	109%	968.0	1114	115%	946.0	871	92%	864.0	846	98%

(単位：mm)

- ※1 平年値とは、各施設(ダムおよび琵琶湖開発)の管理開始から平成22年度までの各月の累計雨量を相加平均した数値
- ※2 琵琶湖は流域平均雨量、各ダムはダム地点雨量
- ※3 本観測値は、速報値であり、今後の調査により数値等が変わることがあります。

# 比奈知ダム上流域での累計雨量が838mmを記録!

## 台風12号に伴う出水と名張川上流3ダム（青蓮寺ダム、比奈知ダム、室生ダム）の防災操作について

～名張川（名張地点）のはん濫危険を回避～

台風12号は、9月3日10時前に高知県東部に上陸し、その後、ゆっくりと北上して四国地方、中国地方を縦断し、4日未明に日本海に進みました。

台風が大型で、さらに台風の動きが遅かったため、西日本から北日本にかけて、広い範囲で記録的な大雨となりました。また、土砂災害、河川の氾濫等により、和歌山県、奈良県、三重県などで多数の死者、行方不明者が出る大災害となりました。



この台風の影響により、木津川流域では、2日の夜半より継続的な降雨に見舞われ、一旦は小康状態となりましたが、3日未明より再び強い降雨を観測しました。淀川水系名張川の比奈知ダム上流域における流域平均雨量の累計は、838.9mmでした。

各ダム流域平均雨量(8月31日～9月4日)

(単位:mm)

ダム名	8月31日	9月1日	9月2日	9月3日	9月4日	累計
高山ダム	13.2	70.8	213.8	116.8	96.8	511.4
青蓮寺ダム	25.8	105.0	291.8	189.1	82.0	693.7
室生ダム	5.5	34.6	192.7	87.7	93.4	413.9
比奈知ダム	37.8	128.9	278.0	248.8	145.4	838.9
布目ダム	2.0	33.7	128.4	23.6	88.3	276.0
日吉ダム	0.0	12.6	25.7	89.8	98.0	226.1
一庫ダム	0.0	11.0	15.6	79.5	72.5	178.6

※ 本観測値は、速報値であり、今後の調査により数値等が変わることがあります。

この降雨による出水に対し、名張川上流の2ダム（青蓮寺ダム、比奈知ダム）では、流入量が洪水量に達し、室生ダムを含めた3ダムが連携して防災操作を実施しました。

この防災操作では下流河川の状況、ダムの貯水容量等を考慮し、国土交通省近畿地方整備局淀川ダム統管理事務所の指示（統合操作）により、最大のダム流下量を通常の防災操作（比奈知ダム毎秒300立方メートル、青蓮寺ダム毎秒450立方メートル、室生ダム毎秒300立方メートル）に比べて減量する防災操作を実施しました。

関西管内の各ダムにおける最大流入量および最大流入時放流量

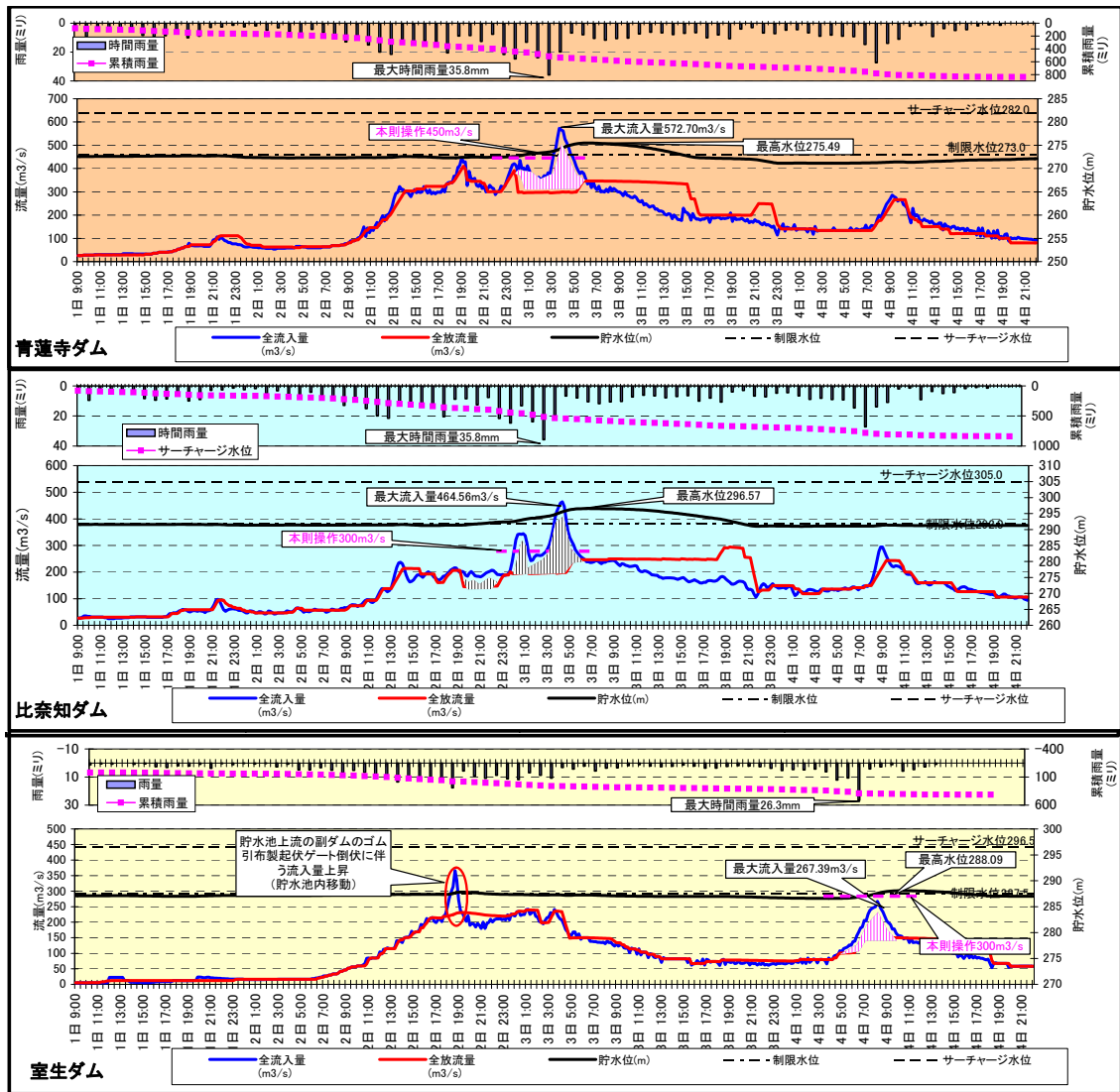
ダム名	流域面積 (km <sup>2</sup> )	流域平均累計雨量 (mm)※2	最大流入量 (m <sup>3</sup> /s)	最大流入時放流量 (m <sup>3</sup> /s)	調節量 (m <sup>3</sup> /s)	洪水調節容量 (千m <sup>3</sup> )※3	最大流入時刻
高山ダム	615	511	1,310	1,130	180	35,400	9/3 1:53
青蓮寺ダム	100	693	582	298	283	8,400	9/3 3:46
室生ダム	136	414	366	227	139	7,750	9/2 18:40
比奈知ダム	76	837	344	196	147	9,000	9/3 0:30
布目ダム	75	276	116	80	36	6,400	9/4 8:14
日吉ダム	290	223	401	149	252	42,000	9/4 8:49
一庫ダム	115	171	87	74	13	17,500	9/4 2:00

※ 表中の太線枠内については、淀川ダム統管理事務所の指示による最大のダム流下量です。

※※ 本観測値は、速報値であり、今後の調査により数値等が変わることがあります。

この結果、ダム下流の名張地点では河川水位が 7.01m となり、ダムがない場合に比べて河川水位を約 0.9 メートル低減させたと推定されます。

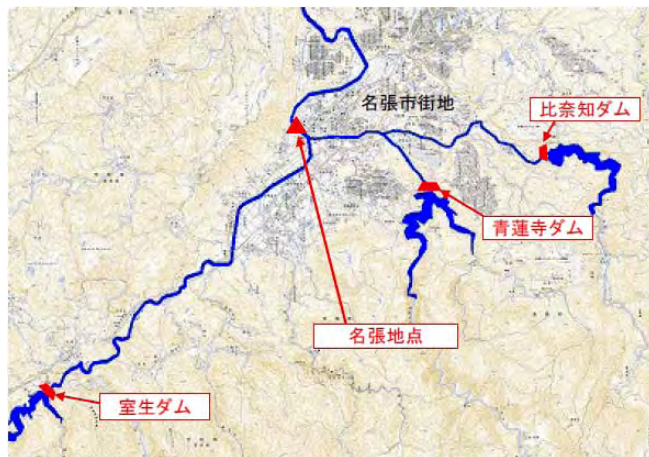
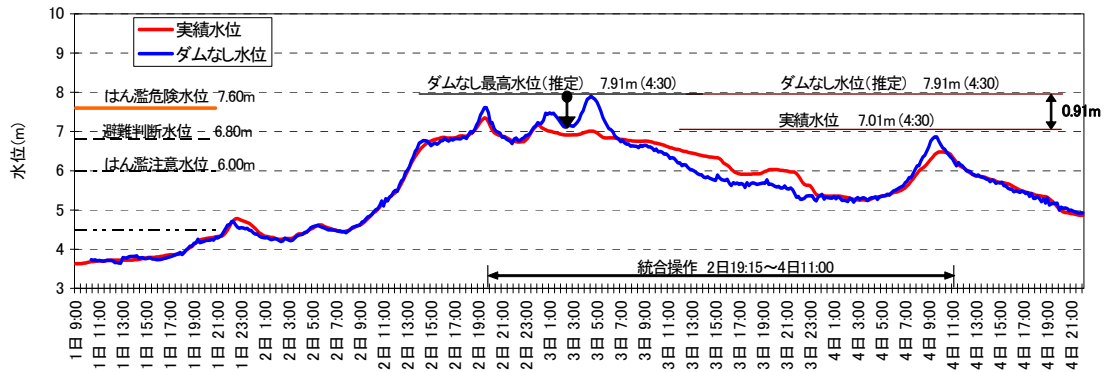
これにより、はん濫危険水位 (7.6m) を上回ることが回避され、下流の洪水被害軽減に貢献できたものと考えられます。



## 名張川上流3ダム(青蓮寺ダム、室生ダム、比奈知ダム)の統合操作

経過

### 名張地点水位



名張川上流3ダム(青蓮寺、比奈知、室生)下流位置図

# 布目ダム管理開始以降、最高の総雨量を記録！！

～出水と布目ダム防災操作の効果について～

布目ダム流域においても、8月31日から9月4日までの総雨量は276mmで、管理開始(平成4年4月1日)以降で最多雨量を記録しました。

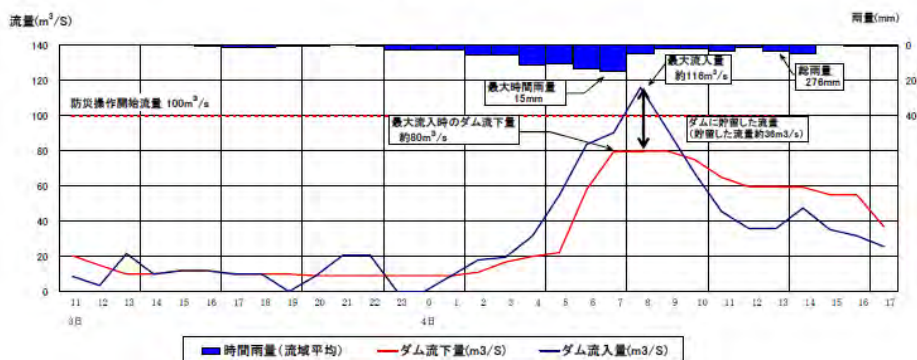
この降雨により、布目ダムでも流入量が増加して、洪水量(毎秒100立方メートル)に達したため、防災操作を開始しました。

この防災操作では下流河川の状況、木津川本川の状況、ダムの貯水容量等を考慮し、淀

川ダム統合管理事務所の指示により、最大のダム流下量を毎秒 80 立方メートル以下にした操作としました。

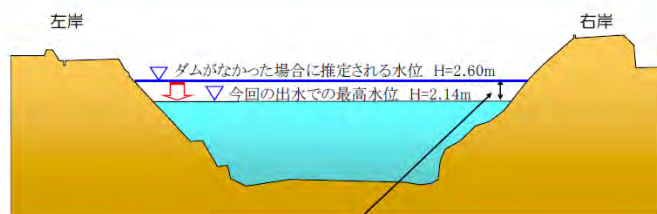
9月4日8時14分には流入量が最大（毎秒約116立方メートル）となりました。同時刻のダム流下量は毎秒約80立方メートルであり、布目ダムで毎秒約36立方メートルの貯留を行いました。

布目ダム操作概況図



ダム下流の興ヶ原水位観測所では、布目ダムの防災操作によりダムが無い場合に比べて河川水位を 0.46m 低減したと推定され、下流の洪水被害軽減に貢献できたものと考えられます。

布目ダムの防災操作状況（興ヶ原地点）



ダムによる水位低減効果は、約0.46mと推定されます。

布目ダム下流位置図



木津川ダム総合管理所では、今後も治水・利水の両面でダム管理に万全を期し、ダム効果発現に努めて参ります。

## 明治29年(1896年)を振り返る(大津波と大出水)

—過去に学ぶ大災害への備え—

2011年9月11日  
原 稔 明

我々土木技術者(土木屋)は、自然への感謝と畏敬の念を忘れることなく現場主義に徹し、如何に長期的・多面的且つ根本的な視点で物事を捉えるかを自問自答しつつ、社会資本の整備や既に出来上がったダム等の生命維持装置の操作を通して、「命を守る」「水を守る」ことを使命としております。

私自身、平成6年の琵琶湖大濁水の「-123センチ」と翌平成7年の直下型地震・阪神淡路大震災をこの目で見るといふ体得を経て、土木屋のはしくれとして、ようやく上記境地、特に自然への畏敬の念を忘れることなく、長期的視点で物事を観ることの大切さを知るに至った次第であります。

富山和子氏は、PHP新書「環境問題とはなにか」の中で、『自分の足元がほんの五十年、百年前、どんな姿だったかを知らないで、どうして21世紀が語れますか』と言っておられます。

過去の多くの台風襲来による洪水災害や震災を例に出すまでもなく、我々は常に過去を振り返り危機管理に備えなければなりません。

この度の東日本大震災の教訓とするところは、実際に発生した過去の事象を継続的かつ正しく振り返ることを怠ってはならない極めて基本的なところに至ります。

東北地方の津波に関しては、今からわずか115年前の明治29年6月に今回に匹敵する大津波が三陸地方で発生して大災害となっています。

そして琵琶湖淀川水系においては、明治7年から現在までの130年を超える観測史上、琵琶湖水位の最大(鳥居川量水標で+3.76m)の大洪水が、奇しくも同じ明治29年9月に発生しています。

### 1. 明治29年の三陸沖大津波

明治29年の海底地震に起因する大津波では、青森・岩手・宮城の三県だけで二万人を超える死者を出したと言われております。人口が現在よりかなり少なかったことを考えれば、東日本大震災を上回る災害と言えます。

以下に、吉村昭氏の『三陸海岸大津波』文春文庫より抜粋紹介します。

・・・6月15日は、陰暦の5月5日で端午の節句に当たっていた。近來稀な大豊漁にも恵まれて、三陸沿岸一帯の家々では、軒先に菖蒲をかざり、餅をつき酒食をととのえて沸き立っていた。午前と午後に、かすかに地震があった。が、それは人々に気づかれぬほど微弱なものだった。・・・家々に灯がともり、その日端午の祝いや凱旋兵を歓迎する酒宴は一層賑わいを増していた。・・・

・・・宮古測候所では、午後7時3分30秒に弱震を記録、それは5分間の長さにわたり、ついで同5分30秒にも弱震をとらえた。

人々は、震動のやむのを待つて再び杯を取り上げたが、8時2分35秒にはまた大地がゆったりと揺れた。この弱震があつてから20分ほど経過した頃、いつの間にか闇の海上では戦慄すべき大異変が起こり始めていた。・・・

・・・津波は、約6分間の間隔をおいて襲来、第一、二、三波を頂点として波高は徐々に低くなったが、津波の回数は翌16日正午頃まで大小数十回にも及んだ。

津波の高さは平均10メートルとも、15メートルともいわれている。が・・・

・・・中村氏の家は、かなり高い丘の中腹に建っている。そのあたりの地形は、当時とほとんど変わらないし、そこまで波が押し寄せてきたとは想像も出来なかった。私は、村長と中村氏の家の庭先に立ってみた。海は、はるか下方に輝き、岩に白い波濤がくだけている。「40メートルぐらいはあるでしょうか」という私の問いに、村長は、

「いや、50メートルは十分あるでしょう」と、呆れたように答えた。・・・

## 2. 明治29年の琵琶湖大洪水【江州洪水、江州水害】

ここ滋賀県、琵琶湖の災害を振り返る場合、先ず明治29年の未曾有の大洪水があります。この年は非常な多雨年で、1月から8月までに1637 mmと平年の一年分に相当する雨が降っており、9月に入っても良く降り、9月7日に実に597 mm、8日に162 mm、9日に81 mm、10日に107 mmと、9月4日から12日までのわずか9日間で合計1008 mmという強烈な豪雨が彦根にて観測されております。しかも24時間最大は、684 mm（7日6時～8日6時）と、驚異的なものでした。

6日土佐沖にあった低気圧はゆっくり東に進み、紀伊半島付近で消滅した模様であるが、この低気圧と九州南方海上にある台風との影響で、暖気の補給が盛んとなり、6日より停滞していた前線が、7日に非常に活発となり、滋賀県を中心とする豪雨となったものです。

当時の状況を元彦根測候所長関和男氏は、その回顧録で『雨の振り方の強烈なことは、丁度ロープのような太さの雨で、その上雷雨を伴い、実に凄惨な光景であった』と述べております。当時の大阪朝日新聞には【江州洪水、江州水害】の見出しで記事となり、9月12日付けの記事には、【大津水量1日6時：五尺七寸（172 釐）、10日6時：十一尺二寸（339 釐）】とあります。

また、観測史上最大のこの明治29年の大雨で見落としがちですが、前年の明治28年の7月28日に99 mm、29日に197 mm、とさらに8月2日に81 mm、3日に91 mm、4日に91 mmの降雨量を含んで、7月25日から8月5日までの12日間に合計711 mmのやはり前線性の大雨が木之本地点で記録されています。（滋賀県災害誌より）

さらに、10年遡った明治18年の大洪水（降雨量のデータ無し）は南郷洗堰建設計画立案の契機となっております。

一方、大渇水としては琵琶湖水位観測史上最低の「-123センチ」を記録した平成6年渇水が未だ記憶に新しいところですが、少し古くは昭和14年末の「-103センチ」（水位観測史上最低2位）が、近年に比べてかなり小さい水需要であったこと、5月からの水位低下量は約130センチであることを考慮すると明治以降の実質既往最大の渇水と評価されるようです。

## 3. 過去に学ぶ大災害への備え

「歴史は繰り返す」と言いますが、宇宙の理のもとでの自然現象も一般に、ある周期で繰り返しております。短周期としては一年の地球の公転、11年サイクルの太陽の黒点発生数の周期、少し長くなれば100年程度と言われる太平洋プレートの歪みに起因するプレート地震、さらに長い数百年から千年オーダーの日本列島内陸直下型地震や地球の温暖化と寒冷化の繰り返し等があります。

近畿地方では、今後確実に襲来する南海地震、東南海地震とそれらに伴う大津波に万全を期さなければなりません。

また、多雨期、小雨期も周期性が考えられますが、多雨、少雨の気象変動は近年確実に大きくなってきております。明治29年の琵琶湖の未曾有の豪雨の記録、そろそろ“未曾有の”という形容詞は返上しなければならぬと感じております。

大きなゆらぎの時期に近年入ってきたと認識し、今後は50～70 mmを越える時間雨量の連続と600～800 mmを越える総雨量を想定して常に危機管理に当たらなければならないと痛感しております。

106年前の南郷洗堰（旧洗堰、1905年）の完成の経緯と淀川上下流のこれまでの歴史と117年の彦根気象台（1893,明治26年10月1日より、滋賀県立彦根測候所として1日6回の気象観測を開始）の降雨データ、そして明治7年（1874）から130年を超える琵琶湖の水位観測記録という極めて貴重な過去の情報に琵琶湖淀川流域住民が今一度学ばなければなりません。歴史を振り返ることの重要性を今後の水管理に活かしていかなければならないと感じています。

以上

### 引用・参考文献

- 1) 吉村昭『三陸海岸大津波』文春文庫
- 2) 「環境問題とはなにか」、富山和子、PHP新書
- 3) 初版「滋賀県災害誌」滋賀県、昭和41年





## ご疑問に答えるコーナー

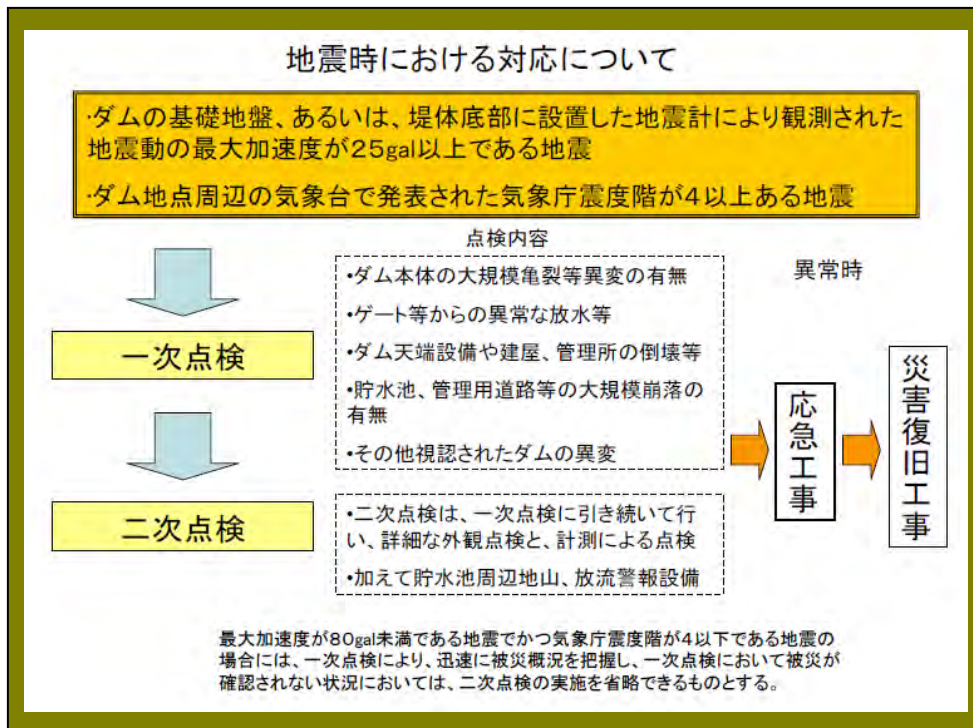
### 水資源機構のダムにおける地震時の対応について

水資源機構および国土交通省が管理しているダムにおいて、次に示す地震が観測された場合には、直ちにダムの点検を行います。

①ダムの基礎地盤あるいは堤体底部に設置した地震計により観測された地震動の最大加速度が 25gal 以上である地震

②ダム地点周辺の気象台で発表された気象庁地震階が 4 以上ある地震

このような地震が発生した場合には、下記の対応をいたします。



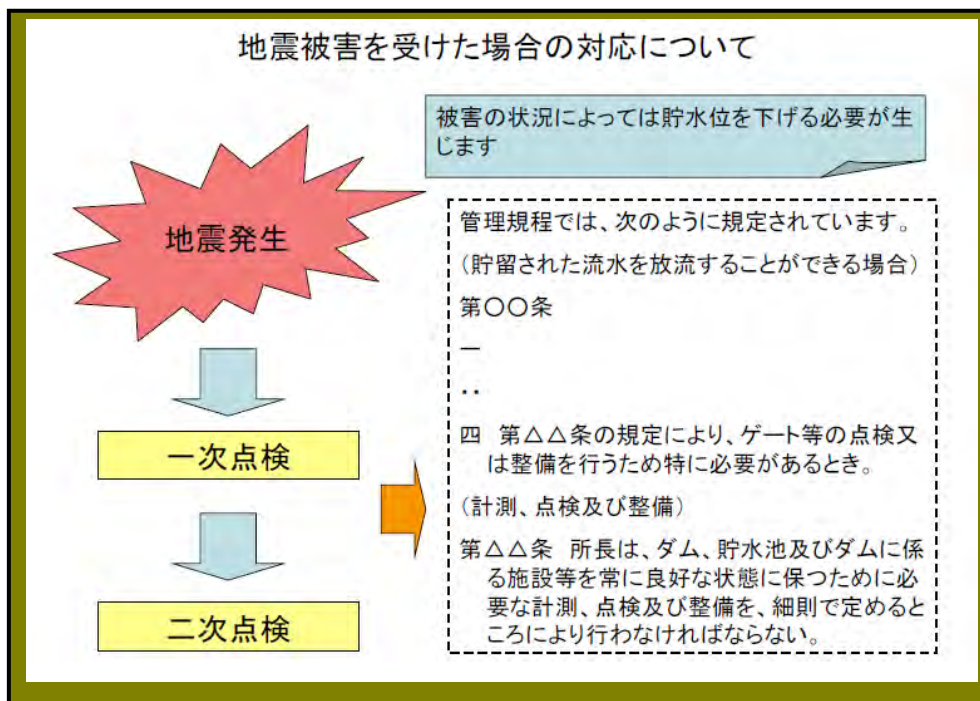
ダムにおける地震計および記録計の配置について、ダムの模式図（左図）を用いて説明いたします。

一般にダムにおいては、堤体に3箇所（底部、中間、天端）、地山に2箇所（左岸、右岸）の計5箇所に地震計が設置されています。

地震計が観測した加速度などが、管理所内にある記録計へ伝達され記録をしています。



大規模な地震が発生し、1次点検・2次点検を行った結果、ダムの堤体や貯水池内の斜面に異常が発見された場合には、ダム下流域の安全を確保するため、緊急放流を行いダムの貯水位を下げる場合があります。



水資源機構では、今後もダム管理に対して万全を期し、災害時においても迅速に対応できるように努めて参ります。

～ 地震年表 ～

(明治以降の主な地震で被害規模が大きいもの)

日付	地震名	地震の規模
明治24年10月28日	濃尾地震	M8.0
明治29年6月15日	三陸地震津波	M8.25
大正12年9月1日	関東地震(関東大震災)	M7.9
昭和2年3月7日	北丹後地震	M7.3
昭和8年3月3日	三陸沖地震	M8.1
昭和19年12月7日	東南海地震	M7.9
昭和20年1月13日	三河地震	M6.8
昭和21年12月21日	南海地震	M8.0
昭和23年6月28日	福井地震	M7.1
平成7年1月17日	兵庫県南部地震	M7.3
平成23年3月11日	東北地方太平洋沖地震	M9.0

(出典元：理科年表)

## 木津川ダム群の水源地域ビジョン連絡会議の実施状況 について

木津川ダム総合管理所が管理する各ダムでは、7月下旬から8月下旬にかけて各ダムの水源地域ビジョン連絡会議が開催されました。水源地域ビジョン会議とは、ダムを活かした水源地域の自立的・持続的な活性化を図ることを目的として、ダム水源地域の自治体、住民等がダム事業者・管理者と共同で策定した行動計画（「水源地域ビジョン計画」）に基づく実施状況や実施計画について情報を共有し、必要に応じて内容等の見直しを行うものです。

各ダムでは、各機関において、貯水池の水質保全（水機構）、不法投棄の防止の取り組み（自治体、水機構）、地域のイベントの開催（自治体、水機構）など水源地域活性化につながる取り組みがなされておりますが、公共投資の削減により広報活動費が削減されるなど経済的な面から活動を持続的に行うことが困難な状況にあります。

ビジョン連絡会議の連携を強化することにより、各種の取り組みを効率的に行うことが可能となります。今回、青蓮寺ダム、比奈知ダムの連絡会議においては、下流住民や自治体に対して、アピールして欲しいとの意見が出されるなど、関西支社では今後とも「水レター」を通じて水源地域の活性化につながる水源地域の積極的な情報提供に努めてまいります。

### 各ダムでの行事实施状況



ダム名	H22年度ダム周辺での活動状況	H23年度ダム周辺での活動計画
高山ダム	・月ヶ瀬レガッタ、月ヶ瀬梅溪早春マラソン大会、梅祭り、釣り大会、不法投棄パトロール他	・月ヶ瀬レガッタ、月ヶ瀬梅溪早春マラソン大会、梅祭り、釣り大会、不法投棄パトロール他
青蓮寺ダム、比奈知ダム ※青蓮寺ダムと比奈知ダムは合同開催。	・名張クリーン大作戦、不法投棄パトロール、施設見学会、青蓮寺湖駅伝(青)、キロポスト設置(青)、比奈知ダム紅葉マラソン大会(比)、クラシックラリー(比)他	・名張クリーン大作戦、不法投棄パトロール、施設見学会、青蓮寺湖駅伝(青)、キロポスト設置(青)、比奈知ダム紅葉マラソン大会(比)、クラシックラリー(比)他
室生ダム	・森林整備の実施、施設見学会、不法投棄パトロール、子供のもり各種イベント他	・森林整備の実施、施設見学会、不法投棄パトロール、子供のもり各種イベント他
布目ダム	・サイクルフェスタ、ツアーオブジャパン、釣り大会、布目ダムマラソン、不法投棄パトロール、河川清掃他	・サイクルフェスタ、ツアーオブジャパン(中止)、釣り大会、布目ダムマラソン、不法投棄パトロール、河川清掃他

注) 各活動は、水資源機構を含めた水源地域ビジョン会議加盟機関の活動です。

(関西支社 利水者サービス課)

# 「青蓮寺ダム施設見学会」を開催

木津川ダム総合管理所 青蓮寺ダム管理所

三重県名張市に所在する、青蓮寺ダム管理所では、7月26日から8月30日の毎週火曜日・木曜日に施設見学会を開催しました。

この施設見学会は、青蓮寺ダム管理開始40周年を機に、昨年度より開催しているものです。特に、今年は、新聞にも紹介されたこともあり、186名もの多くの方に、ご参加いただきました。

見学は、ダムの操作室を始め、モノレールのドルフィン号に乗り、約50メートル下にある放流設備からダムを見上げての見学など、普段では見ることのできないダムの壮大な姿に、参加いただいた方々から、喜びの声を多くいただくことができました。

真夏の暑い中、体調を崩される方もなく、多くの方にダムのことを少しでも知っていただけたことに、職員一同、心より感謝申し上げます。

また、来年も施設見学会の開催を予定しておりますので、一人でも多くの方にご参加いただければ幸いです。



【ダムを見上げての見学】



【利水放流バルブ室にて説明】

- ダムの見学は、事前にご連絡頂ければ、ご案内することもできます。お気軽に青蓮寺ダム管理所まで、ご連絡ください。(Tel0595-65-1289)
- QRコードからダムの豆知識や周辺のイベントなどのお役立ち情報をご覧いただけます！



## 夏でもひ～んやり!「一庫ダム 内部見学会&説明会」

### 一庫ダム管理所

8月27日(土)および28日(日)の2日間にわたり、ダムの役割や機能について理解を深めていただくため、能勢電鉄株式会社と水資源機構一庫ダム管理所が共同でイベントを開催しました。能勢電鉄山下駅から約2kmのハイキングで一庫ダムに到着した参加者は、10人一組毎に職員と一緒にダムの堤体内に入って行きました。

当日は、外気温が30℃近くあったのに、ダム堤体内の気温は、なんと15℃!!堤体内に入った参加者からは、「冷たくて、気持ちイッ!!」、「寒～い。」という声が聞こえてきました。

イベントに参加されたほとんどの方は、ダムの堤体内に入った経験が無く、利水放流バルブや放流管など見たことのない機械設備を目の前にして、職員の説明に熱心に耳を傾けていました。

27日は146名、28日は132名(総勢278名)の多くの方々にご参加いただき、イベントも大盛況であったと感じています。



ダム堤体内で職員の説明に耳を傾けるイベント参加者



ダム堤体に向かうイベント参加者



放流を眺めるイベント参加者

震災の影響もあり、水力発電への関心も多く寄せられ、また子供達からは、「アユの放流体験がしてみたい!」、「ダムカードは、何処でもらえるの?」という声がありました。また、ご父兄からの意見では「色々なイベントを開催してもらって、家族で楽しませてもらっている」、「水資源機構の職員になるには、どうしたら良いですか?」などの声が聞かれ、地域から暖かいご意見をいただき、これからも地域の方々に喜ばれる活動に力を注いでいかなければならないことを再認識したと共に、たいへん嬉しく感じた瞬間でもありました。

○ 一庫ダムの見学予約は、ホームページ

(<http://www.water.go.jp/kansai/hitokura/>) をご参照ください。

# 市民夏のにぎわいフェスタ2011 (伊賀市民祭り)

## 川上ダム建設所

川上ダム建設所職員は、8月21日(日)伊賀上野駅前周辺で開催された、上野商工会議所主催の「市民夏のにぎわいフェスタ2011」に、今年も川上ダムを知っていただくため参加しました。

フェスタ会場の展示ブースでは、川上ダムの役割と環境保全の取り組みを伝えるためのパネル展示をし、また、そのブース内で実物大のオオサンショウウオのパネルを展示するとともに、その重さを体感してもらうコーナーを設けました。

展示ブースには、親子連れを中心に多くの市民が来られ、来ていただいた方々からは、サンショウウオの大きさに驚き、重さの予測と実際の重量がわかったとき、さらに驚いておられたのが印象的でした。参加者からは、「オオサンショウウオは、意外に重たいね」との声がたくさん寄せられました。

年配の方々は、熱心にダムや環境についてのパネルを見ておられたのが、非常に印象的でした。

地域住民の方々と身近に接することが出来たことに対し、「にぎわいフェスタ2011」の主催者及び地元の方々に御礼申し上げます。



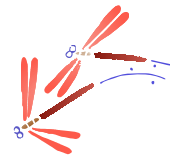
オオサンショウウオの重さ体験

# マラソン大会に出場しよう

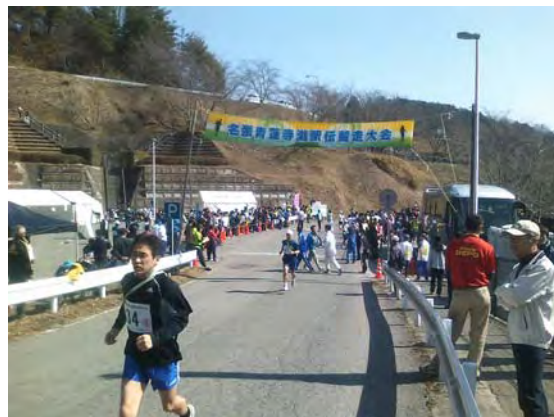
近畿地方では昨年から「奈良マラソン」、今年から「大阪マラソン」、「神戸マラソン」が開催されるなど、健康志向の高まりとともに、マラソンブームが到来しています。各大会ではマラソン大会に初参加という人を多く見かけますし、これからはじめたいという声も多く聞かれます。例年、秋から春にかけて各ダムにおいても貯水池の周りにおいて、マラソン大会が数多く開催されます。関西管内の各ダムでもマラソン大会が予定されていますのでこれを機会にご参加下さい。なお、参加申し込みは直接、大会事務局又はインターネットにて申し込み下さい。

(関西支社 利水者サービス課 ランナー)

## 各ダムで行われるマラソン大会の概要



ダム名	大会名	開催日	競技種目	申し込み締め切り	主催	大会の魅力
比奈知ダム	名張比奈知湖紅葉マラソン大会	2011年11月20日	2km:小学生 3km:中学生 5km:高校生、一般 10km:一般 2kmジョギング:小学生以上	2011年10月14日	名張市、名張市教育委員会	・名張市特産品が当たるお楽しみ抽選会 ・ダム展望台開放 ・豚汁サービス
一庫ダム	第30回川西一庫ダム周遊マラソン大会	2011年11月20日	2km:小学生と保護者ペア 3km:小学生、女子中学生 5km:男子中学生、一般 10km:一般 ハーフマラソン:一般	2011年9月30日	川西一庫ダム周遊マラソン大会実行委員会	・昨年は川西市出身の元プロ野球選手古田敦也氏がゲストランナー ・お楽しみ抽選会
布目ダム	第21回やまぞえ布目ダムマラソン大会	2011年12月4日	3km:小学生、中学生、一般 5km:中学生、一般 15km:中学生、一般 15km駅伝:男子、女子、混成	2011年10月31日	やまぞえ布目ダムマラソン大会実行委員会	・上位入賞者は表彰とともに山添村特産品の副賞あり。
高山ダム	第27回月ヶ瀬梅溪早春マラソン大会	2012年2月12日	3km:小学生、中学生、一般 5km:中学生、一般 10km:一般	未定	月ヶ瀬梅溪早春マラソン大会実行委員会	・昨年の参加賞は、月ヶ瀬村特産のお茶か梅の苗木。 ・温かい豚汁サービス ・豪華お楽しみ抽選会あり。
青蓮寺ダム	第26回青蓮寺湖駅伝競走大会	2012年2月26日	男子の部 :20.24km(5区間) 女子の部 :13.06km(5区間) 男女混成の部:13.06km(5区間)	未定	名張市	・機構職員多数参加。
日吉ダム	日吉ダムマラソン	2012年5月予定		未定		・昨年は震災で中止。



昨年の大会より (第25回青蓮寺湖駅伝競走大会)

# 編集後記

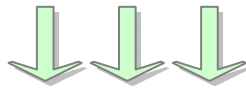
早いもので、暑かった夏も、終わりの影がみえ始め、朝晩は、少し寒いなあ、と感じるようになってきました。(我が家のじゃじゃ馬2人娘は、お腹を出して寝てますが…。) うだるような毎日が続いた時には、早く秋が来ないかなあ、などと思っていましたが、甲子園も終わり、ビアガーデンも閑散とし始めると、夏が終わり、なんだか寂しいなあ、なんて感じてしまいます。(麦酒を嗜む私にとっては、1年を通して、夏こそが最高の季節!とは、いっても、秋は、秋刀魚と麦酒、冬は、鍋と麦酒、春は、桜と麦酒と1年中飲んでいますが…。)

さて、9月に入り、いよいよ台風シーズンの到来と思ったら、さっそく台風12号が直撃しました。加えて、近年では、局地的な豪雨なども頻発しており、ダム管理で最も忙しい季節ですが、職員一同、安全・安心なダム管理を目指し、日々の業務に勤めています。

来年度の予算編成などで、これから、ますます忙しくなり、あっという間に2011年も過ぎてしまいそうですが、私は、35歳の時にはこれを達成できた、といった目標を、遅ればせながら模索する今日この頃です。

(利水者サービス課 高橋)

[水レター「びわ湖・よど川」に対して、ご要望・ご意見等がございましたら、下記アドレスまでご連絡ください。\(耳寄りな情報もお待ちしております。\)](#)



mailto: [w-kansai@msg.biglobe.ne.jp](mailto:w-kansai@msg.biglobe.ne.jp)